

平成 29 年度 食育推進に係る実践報告書

学校名	三原市立糸崎小学校		
学校長氏名	西田 千加子	栄養教諭氏名	三島 美紀
職員数	14名	児童・生徒数	117名

1 学校における食育の現状（昨年度からの課題等）

給食の完食調を年2回行っている。昨年度の完食率は1回目が86%、2回目が94%、平均90%であった。完食できない児童が固定化しているという課題がある。

2 学校の食育に係る目標（成果指標・目標値）

給食の完食率を100%とする。

3 食育の目標に対する具体的な取組

【取組1】（テーマ） 完食の木

2回目の完食調べの期間中、木の枝を描いた画用紙に、完食できた児童が葉っぱや鳥などのシール（シールは給食保健委員会が作成）を貼る、「完食の木」を作成した。完食の木は各学年一枚作成し、完食調べ後にランチルームに掲示することで、他学年の頑張りが見えるようにした。

【取組2】（テーマ） キャベツ生産者の紹介

2月に「生産者の方に感謝して残さず食べる」ことを目標として、写真や動画を交えながら、キャベツの収穫の様子や、生産者の方からのメッセージを伝えた。指導後、子どもたちから生産者の方へメッセージを書いた。キャベツの苦手な児童が、一口でも多く食べようと頑張る姿が見られた。

【学校教育目標】  
 1. 一人一人が自分らしく生きよう  
 2. 多様な文化・価値観を尊重しよう  
 3. 地域とつながり、共生しよう  
 4. 自然と共生しよう  
 5. 心豊かに生きよう

【糸崎小学校の子ども】  
 1. 笑顔と元気な子どもたち  
 2. 夢と希望をもち、努力しよう  
 3. 仲間と協力し、成長しよう  
 4. 心豊かに生きよう

平成29年11月22日  
 栄養教諭 三島美紀  
 三原市立糸崎小学校

**食育だより**

秋の収穫、朝晩の冷え込みが厳しくなってきました。みなさんは、夏と冬、どちらが好きですか？  
 人間だけでなく、野菜にも夏菜と冬菜があります。冬に強い冬菜は、水分を減らして糖分を溜め  
 やすくして、凍結が自分の身を守ります。甘みも栄養もたっぷり詰まった冬菜の魅力を伝えて、冬を  
 元気に乗り越えよう。

**完食の木が育ちました！**

11月13日から17日の5日間、給食の完食調べを行いました。完食できた児童は「完食の木」に、葉っぱや  
 りんごなどのシールを貼りました。初めは葉っぱが少なく、寂しい木でしたが、児童の頑張りとともに色鮮やかな  
 葉っぱが、完食の頑張りとともに色鮮やかに  
 なり、5日には立派な木に成長しました。  
 これからも冬菜が大好きな児童が増えて、完食  
 の木のように元気に成長してほしいと思います。

みんなの力で、  
 完食の木にしよう！

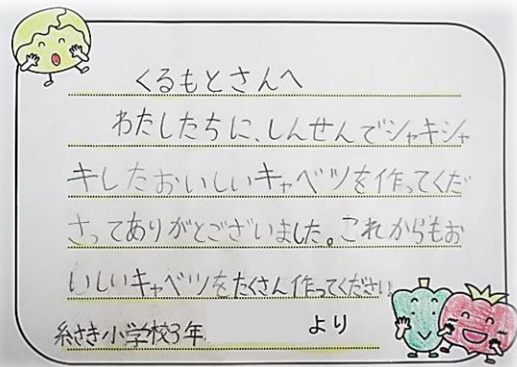
シールは給食保健委員会の  
 児童が作りました。



大きなキャベツに驚いている児童



「完食の木」の取組を掲載した食育便り



児童から生産者の方へのメッセージ

#### 4 「ひろしま給食100万食プロジェクト」の取組について

三原市内の児童生徒が応募した作品の中から、優秀作品3品を選定し、ひろしま食育ウィーク期間中に提供した。当月の給食便りに、レシピ考案者の紹介と、レシピに込められた思いなどを掲載した。また、提供日当日の給食時間中に、レシピや三原市の特産物について放送した。



10月17日(火)  
たこバーガー 牛乳  
熱く燃える!! Cスープ  
レモンゼリー



10月19日(木)  
黒糖パン 牛乳  
あっさりレモン塩焼きそば  
ひじきのマヨネーズサラダ



10月20日(金)  
ご飯 牛乳 鮭の塩焼き  
玉ねぎとたこのジャーマン風ポテト  
おこめん汁

※下線を引いた献立は、三原市内の児童生徒が考案した献立。

#### 5 取組に対する成果と課題

##### 【成果】

完食調べ1回目の完食率は95.9%、2回目は97.4%、平均96.6%となり、昨年度の平均と比較すると6.6%の上昇となった。また、1回目と比較して2回目は全学年でポイントがアップした(4・6年生は同値)。これは、児童同士が励まし合いながら、また、完食の木の作成を楽しみながら、学級全体で完食に向けて取り組んだ結果と言える。

##### 《完食調べ結果》

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	平均
1回目 (6月19日～23日)	89%	96.4%	95.2%	100%	95%	100%	95.9%
2回目 (11月13日～17日)	93%	97.6%	98%	100%	96%	100%	97.4%

##### 【課題】

自分が決めた量を食べ切れるようになってきているが、それが適量であるとは言えない。必要な栄養を十分摂取できていない可能性がある。

#### 6 今後の取組に向けた改善方策について

食の自己管理能力を身につけるために、給食時や学級活動などで栄養バランスについて繰り返し指導する。また、全学年残菜0の日に表彰をしたり、完食の木の取組を継続したりするなどして、楽しみながら完食できるようにする。